

# よこはまプラスチック資源循環アクションプログラム（素案）【概要版】

## 横浜におけるプラスチック対策に向けて

プラスチックによる海洋汚染が地球規模での課題となっており、生態系への影響も懸念されていることから、世界ではプラスチック問題の解決に向けた動きが広まりつつあります。

日本も、問題の解決に向けて国を挙げて動き出しています。取組を進めていくうえでは、市民・事業者の皆様具体的に行動していただくことが重要であることから、基礎自治体の役割が欠かせません。

よこはまプラスチック資源循環アクションプログラムは、オール横浜でプラスチック対策を進めていくためのプログラムです。

## 第1章 プラスチックを取り巻く状況

### 資源循環の状況

- 日本の1人あたりのプラスチックの排出量は世界第2位（1位は米国）と多い状況。
- 横浜市の家庭から排出されたペットボトルの分別率は、90%以上と高い水準で推移しているのに対し、プラスチック製容器包装は60%台で推移。



▲海外のプラスチックごみの状況（環境省）

### 地球温暖化の状況

- プラスチックは焼却すると地球温暖化の一因となる温室効果ガスが多く排出される。



▲地球温暖化の状況（環境省）

### 海洋汚染の状況

- 世界全体で年間数百万トン（推計）ものプラスチックが陸上から海洋へ流出している。
- 生態系を含めた海洋環境への影響が懸念されている。



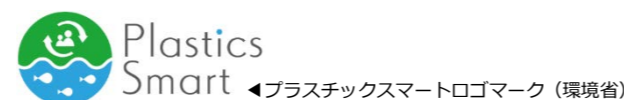
▲海岸での漂着ごみ（環境省）



▲海洋生物への影響（環境省）

### 国のプラスチックへの取組

- 資源循環、海洋プラスチック対策、国際展開、基盤整備の4つを重点戦略とした「プラスチック資源循環戦略」の策定を進めている。
- 省庁連携での対策を進めるため「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン（仮称）」の策定を進めている。



## 第2章 プログラムの概要

本プログラムは、市民・事業者の皆様とともにプラスチック対策を進めていくために、横浜市が取り組む具体的な行動を示したものです。

### プログラムのねらい

プラスチック問題の解決に向けた取組を通じて、

- 天然資源の有効利用（発生抑制及び資源循環による化石燃料等の枯渇性資源の確保）
- 温室効果ガスの排出抑制（地球温暖化対策）
- 海洋プラスチックゼロエミッション（海洋流出対策）

に貢献していきます。

### プログラムの期間

プラスチック資源循環戦略に示されている指標等を踏まえ、2019年度から2030年度とします。

### プログラムの体系

資源循環、海洋流出対策、連携協働の3つを「重点戦略」として定め、

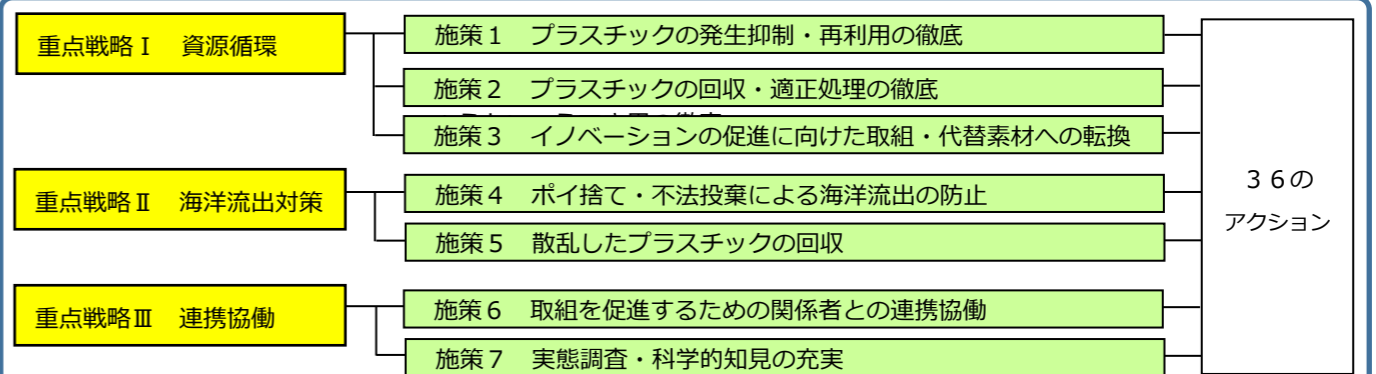
これらを着実に推進していくため、7つの施策に基づき、具体的な取り組みを進めていくための36の「アクション」を設定します。

### アクションプログラムの「ねらい」

天然資源の有効利用

温室効果ガスの排出抑制

海洋プラスチックゼロエミッション



### 第3章 施策とアクション

#### 施策1 プラスチックの発生抑制・再利用の徹底

- ・ 3Rの徹底や代替品の利用促進に向けた啓発
- ・ 本市会議などでの回避可能なワンウェイ※  
プラスチックの削減 など

※通常一度使用した後にその役目を終えること。



▲イベントでの啓発

#### 施策2 プラスチックの回収・適正処理の徹底

- ・ 分かりづらい分別事例の紹介などの啓発
- ・ 焼却工場における搬入物検査の徹底
- ・ Y-PORT 事業 などを通じたごみ分別促進の  
海外支援 など



▲ベトナム・ダナン市での分別支援協力

#### 施策3 イノベーションの促進に向けた取組・代替素材への転換

- ・ 焼却せざるを得ないプラスチックのバイオマス  
素材の導入促進
- ・ 代替素材の普及啓発などによるイノベーションの  
推進 など



SDGs未来都市・横浜  
▲木製ストローの普及

#### 施策4 ポイ捨て・不法投棄による海洋流出の防止

- ・ ポイ捨てや不法投棄と海洋汚染の関連性を  
周知するための広報・啓発
- ・ 折畳み式ネットボックスの普及促進による、  
飛散防止の推進 など



▲折畳み式ネットボックス

#### 施策5 散乱したプラスチックの回収

- ・ 道路・河川の美化及び清掃活動の推進
- ・ 海上漂流物の回収 など



▲海上漂流物の回収

#### 施策6 取組を推進するための関係者との連携協働

- ・ 事業者と連携したプラスチック削減に向けた  
キャンペーンの実施
- ・ 講演会などによる市民や事業者への啓発 など



▲キャンペーンポスター

#### 施策7 実態調査・科学的知見の充実

- ・ 燃やすごみに含まれるワンウェイプラスチック  
の実態調査
- ・ 下水処理施設などの排水等に含まれる  
マイクロプラスチックの実態調査 など



▲ごみの組成調査

### 第4章 SDGsとの関わり

プラスチック問題の解決に向けた取組は、ゴール12「つくる責任つかう責任」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール14「海の豊かさを守ろう」などのSDGs※の様々なゴールにつながっています。

横浜市は、SDGs未来都市として、プラスチック問題の解決に向けて取り組んでいきます。

※2015年国連総会で採択された持続可能な開発目標

#### 今後の進め方

令和元年

5月	素案策定
6月24日～7月31日	市民意見募集
6月	キャンペーン実施
9月	原案策定・確定